



ル 2
3038
巻 2



○オウ換ワカ亦モ尔ル狼ウ德トク此コノ玉タマ拂ハラ郎ラ西シとト入イ尔ル馬ウマ泥ドロ亜アとト小コ塔タ一イチ
 南ミナミのノアルアルベベスス山ヤマとトりリつツてテ意イ多タ里リ亜アとト隔ヘつツはハ地チすスべベてテ山ヤマ
 嶽タケ小コりリてテ出デ地チをヲ去サるル一イチのノ城シロとトゴゴンンススタタンンセセとトりリ入イるル地チ小コ
 傍ワタリてテ大オホ湖ウミありアリ一イチのノ長ナガササ十ジュウ二ニ里リ一イチのノ長ナガササ三サン十ジュウ二ニ里リ日ニッ本ポンのノ
 まマのノレレイインン河カのノ源ネガなりナリはハ河カ屋ヤ曲マりリてテ和ワ葉エフのノ水ミヅ流ナるル
 そソのノくクはハ邦クニ今イマのノ大オホ玉タマ小コ属ゾクせセばバ関セキ郡クニとトちチりリてテ穀コク粒リツ穀コク
 魚イサをヲ地チ小コすスるル
 ○波ナミ羅ラ泥ドロ亜ア小コのノヲヲロロイイセセンン及キババルルチチヲヲウウ海ウミとトのノぞゾびビ有アるル
 加カ里リ亜アとトりリてテ城シロとトカラカラユユススとトのノ入イ米イ生シせセばバとトのノ人ヒト
 ともトモ大オホ小コ麦マキとト生ナすス山ヤマ鹿カとト出デせセりリまマのノ大オホ河カとトりリてテ水ミヅ牛ウシ

と産を「コイベル」の源ありては、ハルツ勃海ふそそ奇木
 或は銅鉄牛馬と産を
 ○弟那瑪尔加南の「アル瑪尼亞」に連る、ハルツ海ありて「雪際」
 亜細亞の諸國と「ヨツペンハーカ」といふ
 ○諾尔勿入亜の「雪際」にありて、ハルツ山ありて、ハルツ坑す
ハルツ南ありて、ハルツ氷海ありて
 ○雪際「スカンジナビヤ」南の「弟那瑪尔加」にありて、ハルツ海とへど
ハルツ東は「バルチヤ」の「海灣」ありて、「ヨフランド」の「白海」にあり
ハルツ北は「スウェーデン」といふ、ハルツ海國「フエ子シ」の二つの島あり
 ちの島は屬を

○蠟皮狼徳東の「白海」のどこの南の「方」の地ありて、「ヲ子ガ」
ハルツ湖の色より「没斯箇」未「亜」に地を、此「徳」に「氷海」と隣り
 する、ハルツ右の「方」ありて、ハルツ人民を、ハルツ米穀と生ぜん、ハルツ獣肉と
 食とする人、ハルツ良く「ユ」に船と造る
 ○「グルウンランド」に極、ハルツ連下ありて、ハルツ玉ありて、ハルツすまのち、ハルツ秋
ハルツ氷海ありて、ハルツ「歐羅巴」の「徳」にありて、ハルツきて、ハルツ夏に、ハルツ此
ハルツ鯨を多く、ハルツ右に「鯨油」と産を、ハルツ草木を、ハルツ生ぜん、ハルツ食す
ハルツまご、ハルツ「ニコル」の「此海」の産あり
 ○氷國の「弟那瑪尔加」の人、ハルツ見出し、ハルツ屬玉とする、ハルツ氷海
ハルツふして、ハルツ草木を、ハルツ生ぜん、ハルツ獣肉と食す、ハルツ皮あり、ハルツひを、ハルツ羽毛と

とつて衣被とを
 オンウハセンプラ。尖山莫斯可未亜の人百九十年以先
 ひろく地ありて雪玉氷凍あり小人玉とりり人物小
 ありて丈三尺といふ
 ○蘇加里亞のカルパチセ山とつて波羅泥亜の境す
 あり入示瑪泥亜ありあめ玉王侯あり一か今を都
 尔格小属と
 ○ブルガリヤ都尔格南小狭小ありて東西へ長一町ナ
 ウ、河玉月と流きて太湖小そくありアルシベルの境
 灣小向ありありて後小海とへたり亜細亜大洲の

○ギリイゲン小アルガリヤ小接一南ハ地中海へ出
 細亜大洲と亜弗利加大洲小向ありハ分搦茶
 海東ハアルシベル海ありカンチヤ海その余海あり
 都尔格小属と小島ロデスハカンチヤの東小あり
 大港に小羽人ありあり一島あり小鞞鞞及アソフ
 ハ大洲の小あり莫斯可未亜の属玉あり一か百
 西細亜都尔格小向人於城とコンスタアン。ノツペルと
 り人都尔格帝の大洲あり英廉ときむ地中海
 あり大洲へ入峡に小在る産金銀法茶奇石と出す
 け地海ありして後員の役利と窮む

○大貌利太泥亜
○大貌利太泥亜は島の都城と「ロンドン」とり南
新の拂郎察と和蘭の海と隔て向ふ氷海
ふのぞむ五十度余の地ありて
この地まとい英親と極るる
まより城の門外に殿閣樓臺ありと教へべく
テエムス河洛中と流るその河石橋と掛る長さ
三百二十石余橋上人の墓のどく建街小市
とるに和葉齋と名の村硝石その余の奇器

○大貌利太泥亜は島の都城と「ロンドン」とり南
新の拂郎察と和蘭の海と隔て向ふ氷海
ふのぞむ五十度余の地ありて
この地まとい英親と極るる
まより城の門外に殿閣樓臺ありと教へべく
テエムス河洛中と流るその河石橋と掛る長さ
三百二十石余橋上人の墓のどく建街小市
とるに和葉齋と名の村硝石その余の奇器

世界第一といふ

○亞細亞大海小アジア都尔格の北方大湖小臨む
アソフ小續く小の地中流る

○那多里亞の地ハ亜攏皮亞小塊を南ハ西紅海と隔
てその地僅ふつらり亞弗利加大海の境ひありて

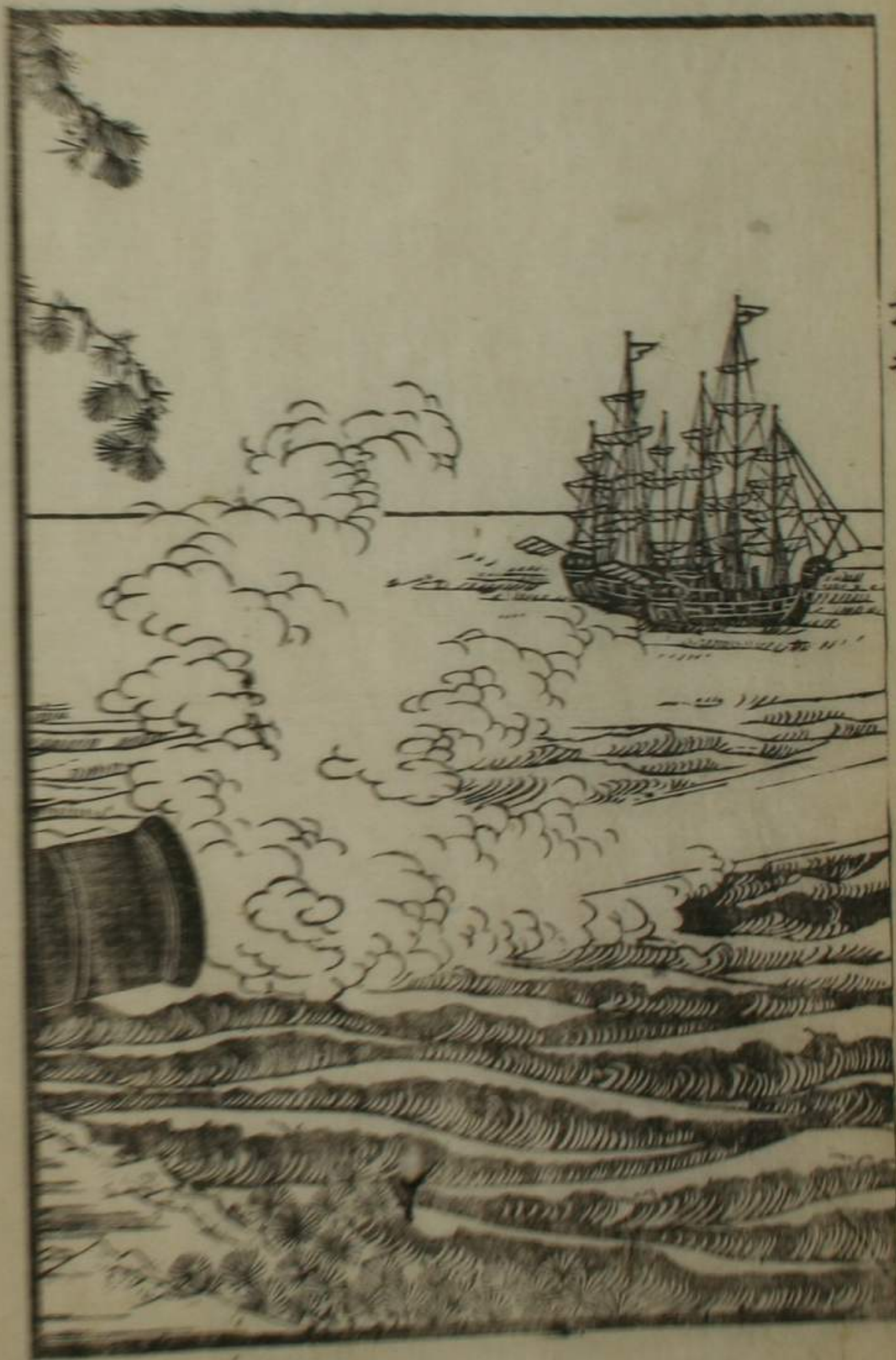
エゲフテンの地ふおよびヨイラの島の産ありて十
に里へさつる地ありてに里方の土地古墳陵のれ多し
その古墳より堀りてそのヨイラなり

○大韃靼國中ハ紅とりつて新日ろとろの總稱

小して氷海にりる西の没斯箇末亜小つくく東
 のカムサスカの地ありて日本に接す小海とへごと隣
 とする南の沙漠の造り満員丹タン支那安
 徳帝亜小接すは地度大ありて邦と殺百小分
 つ多し平系森林ありて穀とて食とて大河
 までありて友小車小のり馬のぞく異穀小ありと引
 せて没斯箇末亜の人性未を國中小モスコヒイタル
 タリイと徳をのみる魯西亜小属すむ小の方あり
 引トモレアラカンカル及シヘリイ南の方ありホルカリヤ「ヤス
 タラカン」城とるんえれども小の方シヘリイの名あり

人物都夏あり

○支那小の方り里城外リヨウトウ沙漠の小の地
 多し支那小属す西の安日河ありて「夜帝亜小
 城を東の海と臨で日本小ひうん天子の城と小
 系といふ
 ○應帝亜のすまのち天竺あり大莫卧兒といふ邦城と
 テルレイと称す南小接する地とアラカンへゴウシヤムマラ
 カマゴベンカラマラバアル及ヨルマンドあり赤海小をあり
 錫蘭島あり此地靈鷲山祇園精舎とて千回に
 面の堂ありまの石とりつて建る奇観とすは海中小



邑とや著しきりの國中ふ名目とありつてそのこゝの
 紅海ふつぐの地トチロピヤ一名とアビシニイ此邦は穀
 珍樹と産し王侯は邦不教法ありて万民ふ不どん
 熱地ありて象駝及牛馬その余吳歎奇多と産す
 サンタバルアヤンソコトラの地ありふのこゝ地中海
 とのぞむの地と既日多といふ人姓窮理と好む
 ふして於海ふ全殿構閣と建る石とありて高橋と
 教丈ふ造る歐羅巴徳州の人と奇観とんその地一
 大河あり地中海ふとくその海ふ月比ありあふきて
 平地ふありふ一丈余三十日と陸て乾くと俟て穀

と種ふかゝるを養ふ若て雨降らばといふ海のこ
 小ふ向の地とバルバリアといふ山の峽とモウダと
 の人歐羅巴大海の中伊斯坦泥亜のギブラルの峽と
 へどつる僅ふして六里なり地中海の潮と吞吐する
 小ギブラル隘といふ海中岩石多し船衆をくといふ東
 の方小皮カトル熱利亜といふ大邦なり若うれども土民
 最鄙ふして化せぬ伊斯坦泥亜の人渡りて交易なるを
 亞太臘ふあり世界第一の富ふなり西を亞太臘海を
 海中福ありといふと東西の初度ふ定む惣して
 バルバリアの地及福あり伊斯坦泥亜不属を

○南の地とグイ子ヤとの又南の地とカアプ
 テグーデホラフありは所不飛賊と彼おき東方へ渡海
 の役利とを及○馬拿莫太巴カツリエラングエバル
 及タカスカル海あり
 ○亜墨利加大海は日本支那の裏ふありさるふあり
 南におかつて廣大の地あり二百九十年以前歐羅
 巴海のアメリカアといふ人開闢するところありて新世
 界といへり赤及十五六度の地一狭路の如き地あり
 ○新以西巴尼亞といふ歐羅巴大海にあり伊新波尼亞
 よりひくくところの地ありて城と築き墨是可とよぶ

今ありていそのをふとあさぐ大ひ小繁業の地と
 奇徳邑とさうち友人と墨徳一む金銀の教字本
 禽獸日本いふまじりざるものあり
 ○勿羅利它小の方海と隔て向の地ありて二十度ふ
 してきて暖時不凍するの風去といふども人相鄙
 ありて盗んあり素ふといふども自農あり人倫の
 あることありて異奇本多ト
 ○ブラシリイは地廣大に限ふとて歐羅巴大海中の
 ホルトガルよりひくきりの多し異族の禽獸と産す
 人相を異にして赤及ふとさきい裸體ありてまき南へ

去の地ハ多の種とりて家々石或ハ鉄骨魚
 牙とりて種と種と殺一あまと象種る割骨小
 して人死すれば主肉と食らん
 ○テツラアラフランドあつ地歐羅巴大海ふあつとつらつ
 白海ふ傷の地ヲフランドの人爛くところありてしまど
 於邑と於邑と種と産をグルウランド軟玉氷
 海あり茶ふ鉄
 ○カルホルニヤあつのかぎりふあり赤海とり入海あり
 ○マゲ子ル大南の出されふしてしまど案けざる地あり人
 物丈余大人ふとり入りの是あり



男
 胡泥可兒奴
 氷海夜國
 女
 卧兒狼徳の人物
 氷海夜國
 卧兒狼徳の人物



地誌

○新墨瓦攏泥加のうへめうらん大南たいなん方かたふありマカラマカランカンカとひく人初ひとめてめええ出でせりせり左ひだりふふ名なづづくとひくともひまどひくけむけむままと南みなみ亞墨利加あめりかの南みなみ出できたとアウハメガアウハメガランカランカとひくひまどひくまどひく

○新和蘭のうらん及新あたらグイ子こヤヤともふりまどひくけむけむ地ちあり

地誌全圖畧説

